



エイズ(HIV)検査体験レポート♪



(財)エイズ予防財団 0120-177-812 月曜～金曜日
受付時間
10:00～17:00 <http://api-net.jfap.or.jp>
レッドリボンがエイズ予防意識のシンボルです。 携帯電話からは03-3592-1183 (4:00～17:00)
HIVエイズについての正しい知識や、全国のエイズ情報・検査窓口を網羅しています。

エイズ(HIV)検査・相談は

明日のために、いま始めよう。

AC 公共広告機構

[トップページ](#)

[お問い合わせ](#)

[リンク集](#)

広告キャンペーン

キャンペーン概要

本年度支援キャンペーン

うしくんのエイズ検査体験レポート

若者のエイズへの関心は薄く、なかなか自分ごとと捉えられていません。また新奇に足を運ぶのも重荷に感じています。

デリケートな問題ですが、エイズ検査へのそんな抵抗感の中身を調べてみると、そこには意外と知られていないニュースがありました。それは、全国の保健所で匿名・無料で検査できるという情報です。そのニュースを、親しみを込めて伝え、足を運んでもらおうと考えたときうしくんを起用したアイデアが生まれました。

テーマ「エイズ検査の促進」

支援団体：財団法人エイズ予防財団

企画・制作：電通

掲載メディア：

テレビ/ラジオ/新聞/雑誌/ポスター

[制作者から](#)

[制作スタッフ](#)

<テレビCM>



<ラジオCM>

うしくん 「うしくん」のエイズ検査体験レポート！
今日はですね、
保健所にエイズ検査を受けにきました。
先生こんにちは。私、「うし」と申しまして…

医師 名前はお聞きしませんよ。匿名検査ですから。
それでは5ccだけ採血しますね。

うしくん ときどきします……

医師 はい、おしまいです。

うしくん え、モーですか？

医師 検査結果は本人だけにお伝えします。
聞きに来てくださいね。

うしくん あの～、お金のほうは～？

医師 もちろん無料です。

うしくん それいいな～。

NA エイズ検査は、保健所で無料・匿名で受ける
ことができます。ご相談は、フリーダイヤル
0120-177-812まで。

そして撮影当日。うしくん、かえるくんともCMとグラフィック、一日の中にギュウギュウに詰め込んだなか、つらい顔ひとつせず数々の名演技を見せてくれました。うしくんのカラダを張ったレポートぶりがなんといっても最大の見せ場ですが、彼に命を吹き込むバベットマベットさんの熟練の技には一同すっかり魅せられてしまいました。

検査を受ければ、これから出会う人たちも恋人どうしも、もっと信頼しあってつきあえるはず…うしくんのおどけた表情の裏にはそんな情熱と使命感が秘められています。


テレビで見たことのないうしくんとドクターの追真のかけあいに注目です。

制作スタッフ

広告会社 (株)電通
制作会社 太陽企画(株)

<テレビCM>

CD	藤島 淳	電通
	高杉詩朗	電通
PL	高杉詩朗	電通
	山田一徳	電通
	村野崇行	電通
CW	山田一徳	電通
PR	姫本健朗	電通
	津山雅次	太陽企画
演出	八代健志	太陽企画
撮影	谷 峰登	
照明	安田憲一	
スタイリスト	板屋越エツコ	レイアウト
HM	鶴川裕子	
音楽	笹岡弘二	ステイングトーン
編集	豊永 玲	太陽企画
MA	川瀬加奈子	マックレイ
出演	バベットマベット・ひろみ	
PM	井上貴生・東 洋輔	太陽企画

< 新聞  スター 広告 >

AD	村野崇行	電通
GW	山田一徳	電通
撮影	石川昇史	
D	伊藤美保	たき工房
	満田裕子	タクト
製版	日庄	

[本サイトについて](#) [プライバシーポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright ©2006 Japan Advertising Council. All rights reserved.

カレシの
元カノの
元カレを、
知っていますか。

少しさかのぼっただけで、知らない人とつながっている。
「エイズなんて関係ない」と、あなたは言い切れますか。
日本では今もなお、HIV感染者やエイズ患者が増え続けています。

エイズ検査は、あなたにも、必要です。

(財)エイズ予防財団

☎0120-177-812 携帯電話からは 03-3592-1183

月～金曜日/10:00～13:00・14:00～17:00 土日祭日を除く
<http://apl-net.ifap.or.jp>

HIV・エイズについての正しい知識や、全国のエイズ相談・検査窓口を紹介しています。



HIV抗体検査は、各地域の保健所で無料・匿名で受けられます。

財団法人エイズ予防財団は、エイズを予防するための啓発活動や、エイズ患者の支援活動を行っています。
エイズ検査センターは、エイズ検査を受けるための窓口です。検査結果は、本人または家族にのみ通知されます。検査料は無料です。検査結果は、本人または家族にのみ通知されます。検査料は無料です。検査結果は、本人または家族にのみ通知されます。検査料は無料です。

感染症法に基づくエイズ患者・感染者情報

（平成18年3月27日～平成18年7月2日）

表1 HIV感染者及びAIDS患者の国籍別、性別、感染経路別、年齢別、感染地域別報告数

感染経路	項目	区分	日本国籍						外国国籍						合計					
			男		女		計		男		女		計		男		女		計	
			今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
HIV感染者	合計		201	153	9	14	210	167	25	21	13	10	38	31	226	174	22	24	248	193
	感染経路	異性間の性的接触	29	22	7	11	36	33	8	7	9	7	17	14	37	29	16	18	53	47
		同性間の性的接触*	152	118	0	0	152	118	8	9	0	0	8	9	160	127	0	0	160	127
		静注薬物濫用	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	2	1	2	0	0	1	2
		母子感染	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
		その他*2	5	3	0	1	5	4	4	2	1	1	5	3	9	5	1	2	10	7
		不明	14	10	1	2	15	12	5	1	3	2	8	3	19	11	4	4	23	15
	年齢	10歳未満	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
		10～19	8	2	0	0	8	2	0	0	0	0	0	0	8	2	0	0	8	2
		20～29	51	47	2	2	53	49	8	4	6	4	14	8	59	51	8	6	67	57
		30～39	81	70	3	8	84	78	6	12	6	5	12	17	87	82	9	13	96	95
		40～49	34	17	1	3	35	20	6	3	1	1	7	4	40	20	2	4	42	24
		50歳以上	27	17	2	1	29	18	5	2	0	0	5	2	32	19	2	1	34	20
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	感染地域	国内	188	140	5	11	193	151	13	12	3	4	16	16	201	152	8	15	209	167
		海外	8	5	3	1	11	6	8	4	6	3	14	7	16	9	9	4	25	13
		不明	5	8	1	2	6	10	4	5	4	3	8	8	9	13	5	5	14	18
AIDS患者	合計		36	73	5	2	91	75	11	11	4	6	15	17	97	84	9	8	106	92
	感染経路	異性間の性的接触	32	24	3	0	35	24	4	3	1	2	5	5	36	27	4	2	40	29
		同性間の性的接触*	38	34	0	0	38	34	2	1	0	0	2	1	40	35	0	0	40	35
		静注薬物濫用	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		母子感染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他*2	4	2	1	0	5	2	0	0	0	0	0	0	4	2	1	0	5	2
		不明	12	12	1	2	13	14	5	7	3	4	8	11	17	19	4	8	21	25
	年齢	10歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		10～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		20～29	4	9	0	0	4	9	1	0	0	0	1	0	5	9	0	0	5	9
		30～39	29	23	4	0	33	23	5	3	3	5	8	8	34	26	7	5	41	31
		40～49	20	23	1	1	21	24	4	5	1	1	5	6	24	28	2	2	26	30
		50歳以上	33	18	0	1	33	19	1	3	0	0	1	3	34	21	0	1	34	22
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	感染地域	国内	73	57	1	1	74	58	9	3	1	1	10	4	82	60	2	2	84	62
		海外	10	5	4	0	14	5	1	3	3	0	4	3	11	8	7	0	18	8
		不明	3	11	0	1	3	12	1	5	0	5	1	10	4	16	0	6	4	22

*1 同性間の性的接触を含む。

*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

平成18年8月22日(火)
健康局疾病対策課
担当者：秋野(2354)
エイズ調査係(2357)
電話 代表5253-1111
直通 3595-2249
<http://api-net.jfap.or.jp/>

表2 平成18年7月2日現在のHIV感染者及びAIDS患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計*1

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	異性間の性的接触	1,426	456	1,882	288	703	991	1,714	1,159	2,873
	同性間の性的接触*2	3,194	1	3,195	215	0	215	3,409	1	3,410
	静注薬物濫用	18	1	19	19	2	21	37	3	40
	母子感染	13	8	21	4	7	11	17	15	32
	その他*3	86	29	115	26	16	42	112	45	157
	不明	496	63	559	276	491	767	772	554	1,326
	HIV合計	5,233	558	5,791	828	1,219	2,047	6,061	1,777	7,838
AIDS患者	異性間の性的接触	1,141	132	1,273	210	146	356	1,351	278	1,629
	同性間の性的接触*2	971	1	972	85	2	87	1,056	3	1,059
	静注薬物濫用	10	2	12	17	0	17	27	2	29
	母子感染	9	3	12	1	4	5	10	7	17
	その他*3	65	13	78	16	8	24	81	21	102
	不明	552	55	607	275	124	399	827	179	1,006
	AIDS合計*4	2,748	206	2,954	604	284	888	3,352	490	3,842
凝固因子製剤による感染者*5	1,420	18	1,438	—	—	—	1,420	18	1,438	

- *1 平成17年までは確定値、平成18年は平成18年7月2日現在の速報値である。
- *2 両性間性的接触を含む。
- *3 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。
- *4 平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告数154件を含む。
- *5 「血液凝固異常症全国調査」による2005年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

※死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～平成18年6月30日)	219名
エイズ予防法*6に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数*7	592名

- *6 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。
- *7 「血液凝固異常症全国調査」による2005年5月31日現在の報告数

表3 HIV感染者及びAIDS患者の都道府県別累積報告状況

ブロック名	都道府県名	HIV感染者			AIDS患者			
		今回報告	前回報告	累積報告	今回報告	前回報告	累積報告	
北海道	1 北海道	4	6	79 (1.0 %)	2	5	65 (1.7 %)	
東北	2 青森県	1	0	22 (0.3 %)	1	1	15 (0.4 %)	
	3 岩手県	0	0	13 (0.2 %)	0	1	13 (0.3 %)	
	4 宮城県	2	6	54 (0.7 %)	1	0	31 (0.8 %)	
	5 秋田県	0	1	12 (0.2 %)	0	1	10 (0.3 %)	
	6 山形県	1	0	11 (0.1 %)	1	0	13 (0.3 %)	
	7 福島県	1	2	33 (0.4 %)	2	2	26 (0.7 %)	
	ブロック計	5	9	145 (1.8 %)	5	5	108 (2.8 %)	
関東・甲信越	8 茨城県	5	5	405 (5.2 %)	3	6	238 (6.2 %)	
	9 栃木県	6	5	140 (1.8 %)	4	2	111 (2.9 %)	
	10 群馬県	3	0	100 (1.3 %)	0	4	82 (2.1 %)	
	11 埼玉県	6	3	262 (3.3 %)	9	2	214 (5.6 %)	
	12 千葉県	11	7	451 (5.8 %)	6	5	300 (7.8 %)	
	13 東京都	97	76	3,025 (38.6 %)	29	25	1,140 (29.7 %)	
	14 神奈川県	13	11	611 (7.8 %)	5	7	323 (8.4 %)	
	15 新潟県	1	0	54 (0.7 %)	2	1	32 (0.8 %)	
	16 山梨県	1	3	79 (1.0 %)	0	1	34 (0.9 %)	
	17 長野県	2	2	225 (2.9 %)	1	4	136 (3.5 %)	
	ブロック計	145	112	5,352 (68.3 %)	59	57	2,610 (67.9 %)	
	北陸	18 富山県	0	1	19 (0.2 %)	1	1	17 (0.4 %)
		19 石川県	3	1	22 (0.3 %)	0	1	9 (0.2 %)
		20 福井県	0	0	24 (0.3 %)	1	1	12 (0.3 %)
		ブロック計	3	2	65 (0.8 %)	2	3	38 (1.0 %)
	東海	21 岐阜県	3	0	39 (0.5 %)	1	1	38 (1.0 %)
		22 静岡県	2	5	189 (2.4 %)	2	1	106 (2.8 %)
23 愛知県		20	19	383 (4.9 %)	9	5	161 (4.2 %)	
24 三重県		0	0	84 (1.1 %)	0	0	39 (1.0 %)	
ブロック計		25	24	695 (8.9 %)	12	7	344 (9.0 %)	
近畿	25 滋賀県	4	0	31 (0.4 %)	1	2	25 (0.7 %)	
	26 京都府	7	2	103 (1.3 %)	2	3	46 (1.2 %)	
	27 大阪府	33	21	724 (9.2 %)	7	3	225 (5.9 %)	
	28 兵庫県	6	7	131 (1.7 %)	5	3	74 (1.9 %)	
	29 奈良県	2	3	44 (0.6 %)	1	1	25 (0.7 %)	
	30 和歌山県	0	0	22 (0.3 %)	0	0	24 (0.6 %)	
	ブロック計	52	33	1,055 (13.5 %)	16	12	419 (10.9 %)	
国・四国	31 鳥取県	0	1	5 (0.1 %)	1	0	4 (0.1 %)	
	32 島根県	0	1	8 (0.1 %)	0	0	3 (0.1 %)	
	33 岡山県	0	2	27 (0.3 %)	2	0	21 (0.5 %)	
	34 広島県	3	1	64 (0.8 %)	1	0	22 (0.6 %)	
	35 山口県	2	1	17 (0.2 %)	0	0	7 (0.2 %)	
	36 徳島県	0	0	6 (0.1 %)	0	0	7 (0.2 %)	
	37 香川県	0	0	15 (0.2 %)	0	1	11 (0.3 %)	
	38 愛媛県	3	0	34 (0.4 %)	1	0	22 (0.6 %)	
	39 高知県	0	2	16 (0.2 %)	1	0	8 (0.2 %)	
	ブロック計	8	8	192 (2.4 %)	6	1	105 (2.7 %)	
	九州・沖縄	40 福岡県	3	1	111 (1.4 %)	3	0	54 (1.4 %)
		41 佐賀県	0	0	4 (0.1 %)	0	0	3 (0.1 %)
		42 長崎県	0	1	16 (0.2 %)	0	0	11 (0.3 %)
43 熊本県		1	0	25 (0.3 %)	0	0	13 (0.3 %)	
44 大分県		0	0	13 (0.2 %)	0	0	8 (0.2 %)	
45 宮崎県		1	1	18 (0.2 %)	0	1	10 (0.3 %)	
46 鹿児島県		0	1	24 (0.3 %)	0	1	16 (0.4 %)	
47 沖縄県		1	0	49 (0.6 %)	1	0	38 (1.0 %)	
ブロック計		6	4	255 (3.3 %)	4	2	153 (4.0 %)	
合計		248	198	7,838 (100.0 %)	106	92	3,842 (100.0 %)	

患者・感染者病変報告情報

[平成18年4月1日～6月30日]

任意報告分

1 性別病変数

1-1 キャリア等→AIDS

区分	男性	女性	合計
総数	1 (0)	0 (0)	1 (0)
10歳未満	1 (0)	0 (0)	1 (0)
10～19			0 (0)
20～29			0 (0)
30～39			0 (0)
40～49			0 (0)
50歳以上	1 (0)		1 (0)
不明			0 (0)

1-2 生存→死亡

区分	男性	女性	合計
総数	5 (0)	0 (0)	5 (0)
AIDSが原因	4 (0)		4 (0)
それ以外	1 (0)		1 (0)
10歳未満			0 (0)
10～19			0 (0)
20～29			0 (0)
30～39			0 (0)
40～49	3 (0)		3 (0)
50歳以上	2 (0)		2 (0)
不明			0 (0)

2 性別病変数 (累計)

1-1 キャリア等→AIDS

区分	男性	女性	合計
総数	56 (5)	15 (7)	71 (12)
10歳未満	1 (1)	0 (0)	1 (1)
10～19	0 (0)	0 (0)	0 (0)
20～29	10 (1)	5 (2)	15 (3)
30～39	15 (1)	5 (4)	20 (5)
40～49	11 (2)	2 (2)	13 (4)
50歳以上	18 (0)	3 (0)	21 (0)
不明	1 (0)	0 (0)	1 (0)

1-2 生存→死亡

区分	男性	女性	合計
総数	194 (22)	25 (12)	219 (34)
AIDSが原因	146 (18)	18 (8)	164 (26)
それ以外	47 (4)	7 (4)	54 (8)
10歳未満	0 (0)	1 (1)	1 (1)
10～19	0 (0)	0 (0)	0 (0)
20～29	13 (2)	6 (4)	19 (6)
30～39	40 (10)	7 (4)	47 (14)
40～49	52 (7)	2 (1)	54 (8)
50歳以上	87 (3)	8 (2)	95 (5)
不明	1 (0)	0 (0)	1 (0)

(注) : () は外国人数で内数。下段は前期までの報告漏れで外数。

都道府県別累積病状変化報告状況

任意報告分
(平成18年6月末現在)

都道府県名	報告件数 (件)	構成割合 (%)	ブロック別	
			報告件数 (件)	構成割合 (%)
1 北海道	5	1.7	東北	5 1.7
2 青森県	1	0.3		
3 岩手県	1	0.3		
4 宮城県	3	1.0		
5 秋田県	1	0.3		
6 山形県	2	0.7		
7 福島県	3	1.0		
8 茨城県	10	3.4	関東・甲信越	11 3.8
9 栃木県	4	1.4		
10 群馬県	11	3.8		
11 埼玉県	8	2.8		
12 千葉県	13	4.5		
13 東京都	80 [1] (3)	27.6		
14 神奈川県	14	4.8		
15 新潟県	7	2.4		
16 山梨県	1	0.3		
17 長野県	7	2.4		
18 富山県	4	1.4	北陸	4 1.4
19 石川県	0	0.0		
20 福井県	0	0.0		
21 岐阜県	0	0.0	東海	36 12.4
22 静岡県	23 (1)	7.9		
23 愛知県	13 (1)	4.5		
24 三重県	0	0.0		
25 滋賀県	0	0.0	近畿	40 13.8
26 京都府	3	1.0		
27 大阪府	30 (1)	10.3		
28 兵庫県	4	1.4		
29 奈良県	3	1.0		
30 和歌山県	0	0.0		
31 鳥取県	0	0.0		
32 島根県	0	0.0		
33 岡山県	5	1.7		
34 広島県	14 [1]	4.8		
35 山口県	1	0.3		
36 徳島県	2	0.7		
37 香川県	5	1.7		
38 愛媛県	0	0.0		
39 高知県	2	0.7		
40 福岡県	5	1.7	九州・沖縄	10 3.4
41 佐賀県	1	0.3		
42 長崎県	0	0.0		
43 熊本県	1	0.3		
44 大分県	0	0.0		
45 宮崎県	0	0.0		
46 鹿児島県	0	0.0		
47 沖縄県	3	1.0		
合計	290 [2] (6)	100.0	290	100.0

() 内は今回報告件数(平成18年4月1日～6月末までの報告分)、[] 内は前回までの報告漏れ件数(いずれも内数)である。

保健所等におけるH I V抗体検査件数

(単位:件)

都道府県	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年					平成18年		
	年間	年間	年間	年間	年間	年間	年間	年間	年間	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
									1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	
北海道	1,482	1,441	1,530	1,729	1,429	1,557	1,796	2,204	534	439	522	709	548	600	
青森県	218	262	227	343	199	225	232	363	105	55	65	138	128	93	
岩手県	286	286	290	378	291	283	329	490	154	62	105	169	134	133	
宮城県	699	671	683	758	590	794	918	926	229	185	241	271	222	210	
秋田県	137	150	169	235	176	204	334	488	84	86	109	209	90	93	
山形県	299	279	261	260	201	301	562	457	147	90	97	123	107	109	
福島県	379	304	571	516	347	368	545	1,010	459	157	169	225	201	242	
茨城県	957	875	928	1,766	777	1,006	1,175	1,255	265	280	361	349	324	345	
栃木県	658	564	654	928	720	1,025	1,405	1,687	406	368	456	457	390	404	
群馬県	775	628	637	789	591	654	722	1,023	216	176	301	330	340	301	
埼玉県	2,140	1,789	1,752	3,483	1,553	1,820	2,656	3,903	1,834	518	656	895	592	739	
千葉県	2,456	2,155	2,344	2,870	2,367	3,185	3,578	3,763	823	792	996	1,152	828	1,109	
東京都	5,523	5,191	5,396	9,778	7,116	8,316	9,742	10,084	2,683	2,140	2,444	2,817	2,372	2,525	
神奈川県	6,362	5,886	5,499	7,083	3,535	3,602	4,056	6,100	1,625	1,338	1,531	1,606	1,309	1,456	
新潟県	731	613	543	819	542	735	884	921	217	165	263	276	207	232	
富山県	336	430	303	252	263	342	375	474	92	103	99	180	114		
石川県	375	330	380	437	368	533	796	797	244	150	158	245	169		
福井県	242	219	169	204	145	230	227	297	51	67	85	94	71	91	
山梨県	344	394	325	430	357	486	536	600	126	143	163	168	122	174	
長野県	1,154	1,062	1,097	1,582	1,106	1,295	1,437	1,755	382	378	480	535	399	511	
岐阜県	367	342	376	453	339	373	451	411	104	70	81	156	110	116	
静岡県	1,393	1,271	1,337	1,925	1,387	1,705	2,063	2,423	605	505	588	725	637	743	
愛知県	4,208	3,779	3,971	6,196	4,429	5,369	5,784	5,511	1,327	1,254	1,394	1,536	1,471	1,615	
三重県	549	518	470	591	464	523	571	612	148	136	168	160	152	221	
滋賀県	388	341	318	390	376	430	582	963	439	111	201	212	140	116	
京都府	1,475	1,290	1,271	1,873	1,172	1,494	1,671	1,929	478	336	551	564	499	535	
大阪府	6,491	5,763	5,295	7,682	5,802	6,840	7,110	8,581	1,755	1,702	2,469	2,655	1,787	1,838	
兵庫県	2,666	2,275	2,380	4,486	2,317	2,469	2,968	3,370	1,277	572	811	710	531	568	
奈良県	411	339	360	690	314	355	563	539	166	108	133	132	117	166	
和歌山県	330	249	259	369	248	274	258	309	69	84	90	66	87	77	
鳥取県	183	144	106	258	170	218	326	406	69	67	135	135	79	122	
島根県	170	140	148	222	182	153	183	196	46	39	65	46	46		
岡山県	569	454	437	604	566	728	703	789	188	146	175	280	196	237	
広島県	1,137	1,034	1,123	1,170	875	1,113	1,247	1,535	315	298	380	542	304	367	
山口県	454	419	446	431	404	495	595	796	151	156	193	296	176	194	
徳島県	363	236	270	287	233	337	322	405	103	70	94	138	107	131	
香川県	251	229	222	214	170	225	261	274	60	61	81	72	69	51	
愛媛県	450	457	452	403	437	544	704	868	168	166	225	309	193	282	
高知県	232	228	310	267	248	374	403	541	101	104	158	178	120	125	
福岡県	2,372	2,236	2,241	2,908	3,333	4,128	4,631	5,146	1,140	1,132	1,196	1,678	1,157	1,294	
佐賀県	421	462	472	517	435	608	877	1,113	211	350	218	334	265	265	
長崎県	405	387	413	443	495	497	447	598	129	141	148	180	168	147	
熊本県	498	528	619	785	655	869	1,141	1,405	328	305	358	414	316	344	
大分県	332	307	323	543	299	404	415	539	113	109	135	182	118	159	
宮崎県	255	294	350	360	315	375	421	509	150	103	87	169	134	171	
鹿児島県	332	280	326	282	258	334	420	604	121	120	122	241	183	182	
沖縄県	963	687	701	936	833	1,042	1,352	1,930	383	461	439	647	628	519	
計									20,820	16,398	19,976	23,705	18,457	20,369	
年計	53,218	48,218	48,754	69,925	49,429 (12,223)	59,237 (16,302)	68,774 (20,230)	80,899 (19,388)	(4,180)	(4,402)	(4,724)	(6,082)	(5,338)	(5,604)	
												80,899 (19,388)		38,826 (10,942)	

()内は、自治体が発行する保健所以外の検査件数(別冊)

保健所等における相談件数

(単位：件)

都道府県	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年					平成18年		
	年間	年間	年間	年間	年間	年間	年間	年間	第1四半期 1月～3月	第2四半期 4月～6月	第3四半期 7月～9月	第4四半期 10月～12月	第1四半期 1月～3月	第2四半期 4月～6月	
北海道	2,273	2,261	2,306	2,274	2,030	2,232	2,182	2,837	693	646	730	768	788	681	
青森県	619	759	718	1,011	832	747	793	1,156	276	225	251	404	352	322	
岩手県	524	424	415	543	517	596	651	190	36	40	38	76	78	125	
宮城県	1,419	1,554	1,656	1,751	1,463	1,727	1,752	646	152	136	192	166	168	185	
秋田県	425	419	530	550	416	502	825	171	49	49	38	35	35	80	
山形県	637	521	638	695	548	738	956	398	81	90	125	102	73	39	
福島県	846	567	1,231	1,052	834	1,000	1,160	651	147	150	192	162	193	267	
茨城県	1,975	1,602	1,749	2,382	1,410	1,753	2,131	1,818	480	357	431	550	429	598	
栃木県	1,600	1,238	1,449	1,822	1,583	2,194	2,804	2,780	743	585	707	725	618	656	
群馬県	1,844	1,490	1,496	1,785	1,359	1,559	1,512	1,030	488	137	185	220	250	251	
埼玉県	5,238	4,497	5,326	10,376	6,125	6,565	9,144	13,074	5,494	2,204	2,426	2,950	2,125	2,673	
千葉県	2,962	2,587	2,928	3,187	2,788	4,190	4,335	4,770	985	1,027	1,310	1,448	1,153	1,627	
東京都	17,026	16,958	16,896	24,278	17,198	23,007	24,355	45,946	11,761	10,347	11,586	12,252	11,356	11,598	
神奈川県	10,253	9,657	9,086	11,282	7,779	8,080	12,605	15,480	3,661	3,368	3,878	4,573	3,574	3,676	
新潟県	1,636	1,384	1,526	1,617	1,121	1,617	2,044	1,920	514	366	518	522	444	762	
富山県	868	924	887	738	696	913	1,032	1,201	220	269	293	419	178	198	
石川県	661	698	531	760	765	917	1,129	408	85	103	113	107	109	99	
福井県	437	423	384	384	291	414	440	724	121	174	208	221	154	196	
山梨県	554	614	583	762	707	865	912	817	82	196	403	136	91	115	
長野県	2,082	2,000	2,015	2,304	1,438	1,882	2,012	2,821	594	604	752	871	557	742	
岐阜県	582	545	515	622	476	550	644	535	124	111	110	190	166	164	
静岡県	3,800	3,422	3,748	4,498	4,414	4,486	4,916	3,131	744	703	791	893	920	803	
愛知県	7,436	7,142	7,576	13,576	9,158	11,124	11,358	7,036	1,835	1,508	1,810	1,883	1,866	1,765	
三重県	965	910	809	966	757	855	866	852	211	224	218	199	179	227	
滋賀県	1,199	1,016	1,138	1,195	1,102	1,237	1,339	2,256	955	373	429	499	429	400	
京都府	2,405	2,128	2,209	3,455	2,068	2,336	2,680	889	159	223	249	258	214	180	
大阪府	12,922	12,558	12,223	16,200	13,436	15,718	16,436	15,685	3,372	3,281	4,512	4,520	3,598	3,552	
兵庫県	4,103	3,806	4,328	7,480	4,284	4,287	4,999	2,960	1,780	385	456	339	345	357	
奈良県	345	312	327	353	226	260	272	269	61	75	59	74	86	88	
和歌山県	575	392	363	418	458	624	543	498	144	150	113	91	115	98	
鳥取県	265	219	128	77	157	285	500	138	43	53	26	16	12	40	
島根県	241	171	236	296	310	293	326	343	78	98	88	79	76	71	
岡山県	1,710	1,446	1,310	1,943	2,114	2,833	2,684	1,630	488	352	373	417	366	428	
広島県	2,762	2,462	2,749	2,683	1,967	2,568	3,119	3,522	730	727	986	1,079	784	886	
山口県	989	801	823	676	864	1,094	1,347	925	273	161	210	281	186	172	
徳島県	603	427	523	501	384	580	596	886	205	162	231	288	223	218	
香川県	886	949	779	591	527	597	731	937	193	230	287	227	257	249	
愛媛県	991	950	1,209	813	853	1,030	1,234	1,599	306	327	417	549	361	536	
高知県	465	267	383	382	391	502	540	208	112	24	37	35	43	32	
福岡県	6,096	5,916	5,942	7,024	7,876	9,436	9,848	9,777	2,515	2,378	2,125	2,759	2,304	2,053	
佐賀県	1,160	1,075	1,083	1,106	1,007	1,196	1,670	1,263	303	319	331	310	303	332	
長崎県	726	652	722	653	773	913	895	985	267	232	264	222	243	193	
熊本県	777	766	953	1,057	893	1,121	1,481	1,482	125	411	454	492	408	442	
大分県	1,169	973	1,237	1,306	1,093	1,202	1,015	1,314	267	273	338	436	375	324	
宮崎県	1,402	1,210	1,319	1,139	1,114	1,333	1,502	1,602	467	429	366	340	346	349	
鹿児島県	613	470	547	452	386	468	581	833	178	176	188	291	231	268	
沖縄県	1,970	1,644	1,737	2,254	1,923	1,727	1,689	1,101	201	186	338	376	274	200	
計									42,798	34,644	40,182	43,850	37,435	39,317	
年計	111,046	103,206	107,266	141,269	108,911	130,153	146,585	161,474	161,474					76,752	

平成18年8月22日(火)
 照会先：医薬食品局血液対策課
 担当者：武末，秋楽
 TEL:03-5253-1111(内線)2905,2904
 03-3595-2395(直通)

献血件数及びH I V抗体・核酸増幅検査陽性件数

年	献 血 件 数 (検 査 実 施 数)	陽性件数 () 内女性 [] 内核酸 増幅検査 のみ陽性	10万件 当たり
	件	件	件
1987年 (昭和62年)	8,217,340	11(1)	0.134
1988年 (昭和63年)	7,974,147	9(1)	0.113
1989年 (平成元年)	7,876,682	13(1)	0.165
1990年 (平成2年)	7,743,475	26(6)	0.336
1991年 (平成3年)	8,071,937	29(4)	0.359
1992年 (平成4年)	7,710,693	34(7)	0.441
1993年 (平成5年)	7,205,514	35(5)	0.486
1994年 (平成6年)	6,610,484	36(5)	0.545
1995年 (平成7年)	6,298,706	46(9)	0.730
1996年 (平成8年)	6,039,394	46(5)	0.762
1997年 (平成9年)	5,998,760	54(5)	0.900
1998年 (平成10年)	6,137,378	56(4)	0.912
1999年 (平成11年)	6,139,205	64(6)	1.042
2000年 (平成12年)	5,877,971	67(1) [3]	1.140
2001年 (平成13年)	5,774,269	79(1) [1]	1.368
2002年 (平成14年)	5,784,101	82(5) [2]	1.418
2003年 (平成15年)	5,621,096	87(8) [2]	1.548
2004年 (平成16年)	5,473,141	92(4) [2]	1.681
2005年 (平成17年)	5,320,602	78(3) [2]	1.466
2006年 (平成18年) (1月～6月まで集計)	2,480,063 (速報値)	48(3) [1]	1.935

- (注1)・昭和61年は、年中途から実施したことなどから、3,146,940件、うち、陽性件数11件(女性0)となっている。
 (注2)・抗体検査陽性の血液は廃棄され、製剤には使用されない。
 ・核酸増幅検査については、平成11年10月より全国的に実施している。
 (注3)・平成18年は、1月～6月までを集計した速報値。

平成18年8月22日

エイズ動向委員会の結果報告について

- 1 本日の委員会では、平成18年3月27日より平成18年7月2日までの感染症法に基づく患者・感染者報告並びに平成18年4月1日から平成18年6月30日までの任意報告を解析した。
- 2 平成18年3月27日より平成18年7月2日までの間に感染症法に基づき報告された新規エイズ患者数は106件、新規HIV感染者数は248件であった。
患者106件、感染者248件の内訳は、
 - ① 感染原因別では、異性間の性的接触による患者40件、感染者53件、同性間の性的接触による患者40件、感染者160件、静注薬物濫用による患者0件、感染者1件、母子感染による患者0件、感染者1件、その他の原因による患者5件、感染者10件、原因不明の患者21件、感染者23件であった。
 - ② 性別では男性患者97件、感染者226件、女性患者9件、感染者22件であった。
 - ③ 年齢区分別では、患者は20代5件、30代41件、40代26件、50歳以上34件、感染者は10歳未満1件、10代8件、20代67件、30代96件、40代42件、50歳以上34件であった。
 - ④ 国籍別では日本人患者91件、感染者210件、外国人患者15件、感染者38件であった。
 - ⑤ 感染地域別では、国内で感染した患者84件、感染者209件、海外で感染した患者18件、感染者25件、感染地域不明患者4件、感染者14件であった。
- 3 患者106件、感染者248件のうち
 - ① 異性間の性的接触による患者40件、感染者53件のうち日本人男性は、患者32件、感染者29件、日本人女性は、患者3件、感染者7件であった。
また、外国人男性は、患者4件、感染者8件、外国人女性は、患者1件、感染者9件であった。
同性間の性的接触による患者40件、感染者160件のうち日本人男性は、患者38件、感染者152件であった。
また、外国人男性は、患者2件、感染者8件であった。
 - ② 日本人男性患者86件のうち20代4件、30代29件、40代20件、50歳以上33件、日本人男性感染者201件のうち、10代8件、20代51件、30代81件、40代34件、50歳以上27件であった。

また、日本人女性患者5件のうち30代4件、40代1件、日本人女性感染者9件のうち、10歳未満1件、20代2件、30代3件、40代1件、50歳以上2件であった。

- ③ 外国人男性患者11件のうち20代1件、30代5件、40代4件、50歳以上1件、外国人男性感染者25件のうち20代8件、30代6件、40代6件、50歳以上5件であった。

また、外国人女性患者4件のうち30代3件、40代1件、外国人女性感染者13件のうち20代6件、30代6件、40代1件であった。

- ④ 国内感染による患者84件のうち日本人男性が73件、日本人女性が1件、外国人男性が9件、外国人女性が1件であった。

また、国内感染による感染者209件のうち日本人男性が188件、日本人女性が5件、外国人男性が13件、外国人女性が3件であった。

- ⑤ 海外感染による患者18件のうち日本人男性が10件、日本人女性が4件、外国人男性が1件、外国人女性が3件であった。

また、海外感染による感染者25件のうち日本人男性が8件、日本人女性が3件、外国人男性が8件、外国人女性が6件であった。

4 任意報告により

① キャリア等からエイズ患者になったとの報告は1件であった。

② 患者・感染者の死亡は、AIDSが原因の4件、それ以外で1件であった。

- 5 平成18年4月から6月末までの保健所等におけるHIV抗体検査件数は20,369件、自治体が実施する保健所以外の検査件数は5,604件、保健所等における相談件数は39,317件であった。

- 6 平成18年1月から6月末までの献血件数2,480,063件(速報値)のうち、HIV陽性件数は48件であった。

委員長コメント

【平成 18 年第 2 四半期】

- 1 今回の報告期間は平成 18 年 3 月 27 日から平成 18 年 7 月 2 日までの約 3 か月である。
法定報告に基づく新規 HIV 感染者報告数は 248 件（うち男性 226 件、女性 22 件。前回報告 198 件）で過去最高となった。前年同時期の新規 HIV 感染者報告数は 171 件である。
一方、新規 AIDS 患者報告数は 106 件（うち男性 97 件、女性 9 件。前回報告 92 件）であり、過去二位となった。前年同時期の新規 AIDS 患者報告数は 89 件である。
- 2 感染経路別に見ると、新規 HIV 感染者では同性間性的接触によるものが 160 件（全 HIV 感染者報告数の約 65%）と最も多く、そのうち 152 件が日本国籍男性であった。
また、異性間性的接触による新規感染者報告数は 53 件（全 HIV 感染者報告数の約 21%、うち男性 37 件、女性 16 件）である。
一方、新規 AIDS 患者では同性間性的接触によるものが 40 件（全 AIDS 患者報告数の約 38%）、異性間性的接触によるものが 40 件（全 AIDS 患者報告数の約 38%、うち男性 36 件、女性 4 件）となっている。
年齢別では、新規 HIV 感染者は 20～30 代が多数（約 66%）を占めるが（前回約 77%）、40 代～50 代以上が占める割合が増えている（約 31%）（前回約 22%）。新規 AIDS 患者は 30～50 代以上に広く分布している。
要約すると、感染者・患者とも 91%以上を男性が占め、その中でも同性間性的接触による感染が約 62%を占めている状態であるが、40 代と 50 歳以上の増加が特徴的であった。
- 3 平成 18 年 4 月～6 月末までの保健所における HIV 抗体検査件数は 20,369 件（前年同時期 16,398 件）、自治体が実施する保健所以外の検査件数は 5,604 件（前年同時期 4,402 件）、保健所等における相談件数は 39,317 件（前年同時期 34,644 件）となっており、保健所及び保健所以外における検査件数、保健所等の相談件数はいずれも前年同時期より増加した。
- 4 平成 18 年 1 月から 6 月の献血件数（速報値）は 2,480,063 件（前年同時期 2,725,863 件）で、そのうち HIV 抗体・核酸増幅検査陽性件数は 48 件、10 万人当たりの陽性人数は 1.935 件（前年同時期 1.321 件）であった。
前年同時期と比較し、陽性率が高かった。
- 5 この四半期における新規 HIV 感染者報告数及び AIDS 患者報告数はいずれも前回報告を超え増加傾向にあり、その合計数は過去最高となった。また、保健所及び保健所以外における検査件数、保健所等の相談件数においては前年同時期より増加した。新規 HIV 感染者報告数を感染経路別に見ると、男性同性間性的接触は依然半数を超え、若年層に HIV 感染が広がっているものの、40 代、50 歳以上にも増加が認められる。若年層の感染者及び患者報告数の増加よりも、40 歳以上の感染者及び患者報告数が大幅に増加したことは利用者の利便性に配慮した検査・相談事業を推進した結果によるものと思

われ、H I V検査普及週間など、検査体制の整備について一定の成果が認められる。

各自治体においては保健所等を中心に、利用者の利便性（夜間・休日等）に配慮した検査・相談事業を推進することが重要であり、H I V感染の早期発見による早期治療と感染拡大の抑制に努める必要がある。国民はH I V・A I D Sについての理解を深め、積極的に予防に努め、H I V抗体検査の早期受診に努めるべきである。また、各自治体（特に重点都道府県等）においては、今回の発生動向を考慮しつつ、エイズ対策推進協議会を開催し、予防も含めエイズ対策計画を早急に策定の上、より一層のエイズ対策を推進されたい。

HIV感染最多248人

3～7月 40歳以上大幅増

厚生労働省のエイズ動向委員会は22日、今年3月27日～7月2日までの約3カ月間で新たに報告された国内のエイズウイルス(HIV)感染者は248人にのぼり、四半期では過去最多だったと発表した。これまでの最多は平成16年6月末～9月末の209人。新たに報告されたエイズ患者は過去2位の106人。感染者と患者の合計人数も過去最多となり、増加傾向に歯止めがかからない状況だ。

性別では男性が感染者(226人)、患者(97人)といずれも9割以上を占めた。前回の調査に比べて9割増の男性だった。患者では、同性間と異性間の性的接触が、それぞれ40人でトップだった。感染者の感染経路は、同性間の性的接触が160人(約65%)で最も多く、異性間の性的接触の53人(約21%)が続いた。同性間の性的接触のうち152人は日本国籍の男性だった。40代以上の感染者が増えたことについて、厚生労働省疾病対策課は「夜間・休日検査を導入する自治体が増えて利用者の利便性が向上し、検査を受ける人が増えたため」と分析している。

厚労省は感染報告の多い16自治体を対象に夜間・休日検査の導入などを重点的に支援する対策に乗り出している。今年4～6月末までに全国の保健所で行ったHIV抗体検査数は2万3699件で前年同期に比べて3971件増えている。

都道府県別では埼玉、千葉、東京、京都、大阪の増加が目立った。

産経新聞 平成18年8月23日(水) 朝刊

HIV、四半期で最多
厚生労働省のエイズ動向委員会は22日、今年3月27日から7月2日までの約3カ月間で新たに報告されたエイズウイルス(HIV)感染者が248人(男性226人、女性22人)に上り、四半期ごとの報告数としては過去最多になったと発表した。発症したエイズ患者の報告数も106人(男性97人、女性9人)で過去2位。

朝日新聞 平成18年8月23日(水) 朝刊

厚生労働省エイズ動向委員会は22日、3月27日～7月2日までの四半期でエイズウイルス(HIV)の新規感染者が248人(前年比50人増)となり、報告制度の始まった85年以後、四半期ベースで最多になったと発表した。エイズ患者も106人(同14人増)で、感染者・患者の総数も過去最多となった。特に40代以上の感染者が76人(同32人増)と急増した。

HIV新規感染者248人

厚労省発表 過去最多に

のが160人(全感染者の65%)で、うち152人が日本人男性だった。年齢別割合では20～30代が全体の66%(前回は77%)と最も多かったが、40代以上は31%(前回22%)と割合が増えた。感染者・患者とも9割以上を男性が占めている。

40代以上の感染者が急増した理由について、同省疾病対策課は「夜間・休日などの検査・相談体制が整備され、検査件数自体が増えたことも影響している」としている。

【北川仁士】

HIV新規感染 過去最多

四半期ベース、7月まで

○六年の新規感染者数は年間ベースでも過去最多の

厚生労働省は二十二日、二〇〇六年三月二十七日から七月二日までの三カ月で新たに報告されたエイズウイルス(HIV)の感染者が二百四十八人となり、四半期ベースで過去最多だったと発表した。感染経路は男性間の性的接触が多い。一方、同じ三カ月間にエイズを発症した患者は百六人と過去二番目の多さだった。

2006年のHIV新規感染者数(人)

	第1四半期	第2四半期
10歳未満	0	1
10代	2	8
20代	57	67
30代	95	96
40代	24	42
50歳以上	20	34
合計	198	248

248人 増加傾向続く

○五年(八百三十二人)を上回る見通し。先進各国の新規感染者数が横ばいで推移するなか日本は増加に歯止めがかからない状況が続いている。

新規感染者の内訳は男性二百二十六人、女性二十二人。日本人二百十人、外国人三十八人。感染経路は同性間の性的接触が六五%、異性間の性的接触が二二%で、今回は十歳未満の母子感染も一人報告された。年齢別でみると、三十一代が六六%と最多で、四十代以上が三一%、十代が三%。同省は「感染は若年層を中心に広がっているが、最近では四十代以上の増加ぶりも目立つ」とみている。都道府県別で新規感染者が急増したのは、東京、大阪、京都、千葉、埼玉の五都府県だった。

日本経済新聞 平成18年8月23日(水) 朝刊

HIV感染者数 過去最多を更新

厚生労働省が3か月ごとに集計する国内のエイズ動向調査で、今年第2四半期(3月27日～7月

2日)の新たなエイズウイルス(HIV)感染者数が248人で四半期の最多感染者数を更新したこ

とがわかった。過去最多だったのは2004年第3四半期の209人。エイズ患者数も106人で過去2番

目に多かった。また、4～6月に全国の保健所で行った検査件数は、前年同時期

を約4000件上回る2万3699件に達した。同省は「国内の感染者は増加傾向にあるとみられるが、過去

最高となったのは検査や相談の件数が増えたことも原因」と分析している。

読売新聞 平成18年8月23日(水) 朝刊

HIV感染最多248人

検査件数伸び40代以上が大幅増

厚生労働省エイズ動向一年第二・四半期に新たに

委員会は二十二日、三月

二十七日～七月二日の今

報告されたエイズウイルス(HIV)の感染者は二百四十八人、エイズ患者は百六人だったと発表しました。四十代以上の感染者が大幅に増加し、四半期ベースの感染者は、報告制度が始まった	一九八五年以降最多となりました。厚生労働省疾病対策課は、四十代以上の感染者が増えた理由について、「休日や夜間の検査体制を充実させたことで、検査件数が増えたこと(くらい)は、	か見当たらない。感染者は今まで二十代、三十代が中心だったが、この傾向が続くかどうか今後も見守る必要がある」としています。	(今年第一・四半期比十八人増)、五十歳以上が三十四人(同十四人増)と大幅に増え、全体を押し上げました。一方、十代が八人(同六人増)、二十代が六十七人(同十人増)、三十代が九十六
-----------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------

人(同一人増)で、二十代と三十代で全体の65.7%を占めました。性別は、男性が二百三十六人、女性が二十二人。感染経路別では、同性間の性的接触が百六十八人と大半を占めました。一方、今年上半期に全国で実施されたHIV抗体検査件数は約四万九千件と、前年同期(約四万五千件)と比べ約四千件増えました。年間ベースでも〇二年以降毎年増え続け、昨年は約十万件と〇二年と比べ約三万八千件増えました。

赤旗 平成18年8月23日(水) 朝刊

【インターネットによる掲載確認】

- ・東京新聞
- ・TBS
- ・日刊スポーツ
- ・北海道新聞
- ・秋田魁新報社
- ・デーリー東北新聞社
- ・佐賀新聞
- ・徳島新聞
- ・山陽新聞
- ・岩手日報
- ・山陰中央新報
- ・日刊県民福井
- ・中国新聞
- ・神戸新聞
- ・西日本新聞
- ・河北新報社
- ・東奥日報